

長期戦略策定会議議事概要

1 日時

令和元年 12 月 23 日(月) 午後 3 時 30 分から午後 3 時 50 分まで

2 知事冒頭挨拶

- 長期戦略は 4 月に検討を開始し、8 月に論点整理を提示。都民、都議会、区市町村などから意見を頂戴しながら、全庁的にこれまで検討を進めて頂いた。
- 歴史を振り返ると、1901 年の報知新聞「二十世紀の豫言」の予測の多くは実現している。荒唐無稽と思えるアイデアも実現に繋がることは既に歴史が証明している。
- また、後藤新平の「帝都復興計画」も、当時「大風呂敷」と揶揄されたものであるが、この計画が土台となり、現在の東京の骨格が築かれた。こうした先人たちの歩みを受け継ぎ、次の時代に繋げていくことが私たちの使命である。
- 経済、テクノロジー、気候変動、人口構造という 4 つの歴史的な転換点を今迎えている。東京の持続可能性に大きな影響をもつものであり、その行方については、強い危機感を持っている。
- 延長線上の発想では明るい未来は望めない。変化を先読みし、「未来への投資」を進めていく必要がある。
- 今日は全庁的な検討の成果である戦略ビジョンについて報告を頂きたい。

3 議事（『未来の東京』戦略ビジョン）について説明）

政策企画局計画部長から、『未来の東京』戦略ビジョン）について説明。

4 副知事発言

梶原副知事から以下のような発言があった。

- 戦略ビジョンの策定に当たっては、各局の皆様に多大なご協力を頂き、感謝を申し上げる。

- 戦略ビジョンでは、20 の戦略、約 120 の推進プロジェクトを立ち上げて
いる。これだけ多くのプロジェクトを推進していくことは容易ではない。各
局においては、主体的に政策の具体化に取り組んで頂きたい。
- 分野横断的な取組については、局の垣根を越えて議論し、政策企画局や総
務局、財務局も加わり、協力して政策を練り上げて頂くようお願いする。
- 政策の具体化に当たっては、これまでの延長線上での発想ではなく、各局
の取組を更に一段も二段もレベルアップさせ、幅を広げる必要がある。また、
各局のこれまでの政策のチェックや自律的な改革も必要になる。この取組と
合わせて、これまでの取組を更にレベルアップさせてほしい。難しいミッシ
ョンだが、これまでの役割ややり方に捉われることなく、長期戦略を更なる
高みに上げるために取り組んでほしい。
- また、戦略ビジョンでは、都庁の組織のあり方にも言及している。局長は
じめ、我々も含めて都庁自体を変えていく。我々自体も変わっていくという
強い意識をもって、この戦略ビジョン、プロジェクトを推進して頂きたい。

5 知事発言

- 戦略ビジョンは 300 ページを超える内容になっており、各局、各部署の
政策が多々網羅されている。
- 冒頭、報知新聞の例が出ているが、その中には「牛や馬が動物園でしか見
られなくなる、そして馬を飼うことが簡単ではなくなる」など、当時は笑い
ながら読んだのだと思うが、今はそれが自動車に代わった。また、「遠距離
の品物を鑑定し、売買の契約を整える、その品物は地中鉄管の装置によって
瞬時に通じる」とあるが、最近インターネット通販でチューブを使って運ぶ、
もしくはドローンで運ぶという話が出ている。今、豫言の多くが実現し、更
に先に行こうとしている。
- 戦略ビジョンも、100 年後には「なんだ 100 年前にはこんなことしか言
っていないんだ」というくらい物事の変化は激しいと考えている。現実的な
ところも書き込みながら、夢のあるところも盛り込んでもらった。

- 「令和」という新たな時代が幕を開けたが、この新しい時代を切り拓くのは「人」だと考えている。
- 子供が笑顔で伸びる・育つ。長寿の方々がいきいきと活躍する。一人ひとりが自らの意思で未来を切り拓く。当たり前のようなことだが、当たり前のことが実現する東京であり続けたい、こうした思いを持って、戦略ビジョンを策定している。
- ここで描いた東京の姿を実現することは、「言うは易し、行ふは難し」である。「出生率 2.07」というと、そんなと言われるかもしれないが、人口は全ての基本であるため盛り込んだ。理想の姿をみんなで共有し、新しい知恵、アイデアを生み出すことで、道筋を見出すことができると考えている。
- 戦略ビジョンの策定は、新たなスタートである。都民の皆様からご意見頂き、政策を更に深め、「成長」と「成熟」が両立した、輝ける「未来の東京」を実現するための取組を全力で進めていかねばならない。
- 今年は、ラグビーのワールドカップが大きな盛り上がりを見せた。この熱気を、来年の東京 2020 大会に繋げていく。そのためには、万全の準備が必要である。みんなで力を合わせて成功に導きたい。
- そして、大会を通じて生み出されるレガシーを反映し、具体的な政策を更に高めることで、長期戦略の策定に繋げていきたいと考えている。
- 来年は、戦略ビジョンで示したプロジェクトを具体的に立ち上げ、長期戦略へ進化させていくため重要な年である。全庁を挙げて、主体的に取り組んで頂くようお願いする。

以上